

実務展望

てんぼう

一般社団法人 東京都溶接協会
 公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会
 株式会社 三浦事務所
 発行所・東京都江東区大島三丁目1番11号
 産学協同センター
 電話 03-3685-5700 (代表)
 編集発行人 三浦 繁夫 © 2016
 毎月1回1日発行 定価 100 円・〒共



「全国溶接技術競技会場」と「はこだて朝市巴通り」

編集部撮影

競技会場となったポリテクセンター函館では選手112名が6班に分かれ熱戦を展開した。

大会参加関係者は有名な「函館山」、「五稜郭」「朝市」など市内の観光エリア探訪と地元でしか味わえない味覚を堪能した。

(カラー版は <http://www.miura21.co.jp> でご覧いただけます)

ボイラー溶接士学科試験受験準備講習会

各地区安全衛生技術センターでは、普通・特別ボイラー溶接士学科試験を平成29年2月3日に実施いたします。当協会では下記の要領により資格取得のための受験準備講習会を開催いたします。(案内書及び申込書をご希望の場合はご請求ください。)

日時：平成29年1月12日(木)～13日(金)

会場：産学協同センター 4階講堂

※都営地下鉄＝新宿線「西大島駅」A3番出口1分

受講料：42,000 円 (会員は 36,000 円)

(消費税込み・テキスト代・問題集を含む)

一般社団法人 東京都溶接協会

〒136-0072 東京都江東区大島 3-1-11 産学協同センター内

電話 03-3685-5448 F A X 03-3682-4902

URL : <http://www.jwes-1st.jp>

「クレーン運転業務特別教育」

開催のご案内

つり上げ荷重5トン未満のクレーン運転業務は、特別教育を受けた者でなければ業務につかせてはならないと定められております。当協会では、下記の日程により講習会を開催します。

開催日：平成28年12月20日(火)・21日(水)

会場：ボイラ・クレーン安全協会 5階講習会場

受講料：11,940 円 (消費税込み・テキスト代を含む)

※お問い合わせ、資料請求は下記へどうぞ

公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会
 東京事務所 教育課

〒136-0071 江東区亀戸1-28-6 タニビル 5階

電話 03-3685-5222 F A X 03-3685-5746

URL <http://www.bcsa.or.jp>

十一月には「ふいご祭」をする。鉄工業者の多い東京の下町でも年中行事のひとつとなっている。ふいご祭りは「たたら祭り」ともいい、鍛冶屋、鋳物師、飾り職人などふいごを使う人々たちによって古くから伝えられてきた。

原料として、たたらを使った製錬場は聖域とされていた。鍛冶屋さんの仕事は昔の人たちの生活に強い影響を及ぼした。ことに刀剣を鍛冶する人は、技術の奥義を神

を受けて名刀を打ち上げたという伝説があり、その作品は比類のない名刀のほまれが高い。江戸時代には、地方の農山村を回って農具や刃物を打つ旅回りの職人がいた。北陸の能登や丹波方面から来る

物づくりの原点は“職人の技”

八日は ふいご祭

ボイラーデー



人が多かった。山国に雪がやってくる旧暦の十一月に入ると国に帰り、ふいご祭りをして仕事の無事を祈ったのである。

昔のふいご祭りは、旧暦で行われたが、今では各地のふいご祭りは新暦で行われ京都伏見の稲

にも人気がある。お稲荷さんの御霊は火の玉で象徴され、いかにも幻想的な感じがする。足踏みの大型のふいごをたたるといふ。古代、鉄を農具や武器に使用するようにたたらは、砂鉄と木炭を

秘的なものと考え、その作品には加護を受けた神霊が宿るものと考えられ、これを所持する人は「武士の魂」として大切にされた。鎌倉時代に相州伝の一派を開いた刀工 五郎正宗は稲荷大明神の加護を

荷神社の「火焚祭り」もこの日に行われる。厚生労働省はじめボイラー関連業界では、この日をボイラーデーとして、産業の基であるボイラーを奉り、安全を祈願することを提唱している。

第62回「全国溶接技術競技会」開催

平成28年度(第62回)全国溶接技術競技会「北海道地区・函館大会」が10月8・9日の2日間、北海道函館市のポリテクセンター函館を舞台に開催された。

8日の開会式、競技説明会には全国47地区の競技会を勝ち抜き、都道府県を代表した腕自慢が集まった。

翌9日は被覆アーク溶接の部56人・半自動アーク溶接の部56人合計112人の選手が卓越した技を競い合った。

東京都溶接協会から出場した島田 樹さん(前川製作所)と齊藤健太さん(前川製作所)の2人は優勝を

目指して奮闘した。

競技成績の結果は外観審査とエックス線審査及び曲げ試験の判定後、1月初旬に発表される予定。



ボイラー取扱作業主任者の職務 (ボイラー及び圧力容器安全規則第25条)

1. 圧力、水位及び燃焼状態を監視すること。
2. 急激な負荷の変動を与えないように努めること。
3. 最高使用圧力をこえて圧力を上昇させないこと。
4. 安全弁の機能の保持に努めること。
5. 1日に1回以上水面測定装置の機能を点検すること。
6. 適宜、吹出しを行ない、ボイラー水の濃縮を防ぐこと。
7. 給水装置の機能の保持に努めること。
8. 低水位燃焼しや断装置、火災検出装置その他の自動制御装置を点検し、及び調整すること。
9. ボイラーについて異状を認めたときは、直ちに必要な措置を講ずること。
10. 排出されるばい煙の測定濃度及びボイラー取扱中における異常の有無を記録すること。

点検は
人に任せず
自身の目

主催：公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会 / 後援：厚生労働省

'16 ボイラーデー 11月8日

あなたも出場してみませんか！



▶ 競技風景

公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会 教育部
〒136-0071 江東区亀戸6-41-20 機缶健保会館
TEL 03-3684-5551 FAX 03-3685-2189
E-mail honbu.kyouikubu@bcsa.or.jp
URL http://www.bcsa.or.jp

- 開催場所
産学協同センター
〒136-0072 江東区大島三十一-十一
- 参加のお申込みについて
※参加のお申込みについて
● 申込受付期間
平成28年11月15日(火)～11月30日(水)
- 申込先
左記のEメールアドレスへ。詳細は左記の協会ホームページでご覧いただけます。

平成28年度
第54回ボイラー溶接士溶接技能競技
全国大会の開催について
公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会

厚生労働省後援・日刊工業新聞社協賛の技能競技全国大会は、左記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

● 開催期日 平成29年1月20日(金)

〈助成金案内〜65歳超雇用推進助成金〉

平成28年10月19日より、高齢者の雇用安定のために定年年齢を65歳以上に引き上げたり、高齢者の希望に応じて法定以上の年齢まで継続雇用する制度の整備等を実施した事業主に、「独立行政法人高齢・障害者求職者雇用支援機構」から助成金が支給されます。

1. 支給対象となる事業主

次の各項目すべてに該当する事業主に対して、1事業主あたり（企業単位）1回限り支給されます。

- (1) 雇用保険適用事業所の事業主であること。
- (2) 審査に必要な書類等を整備・保管している事業主であること。
- (3) 審査に必要な書類等を機構の求めに応じ提出または提示する、実地調査に協力する等、審査に協力する事業主であること。
- (4) 労働協約または就業規則等による、次の①から③までのいずれかに該当する新しい制度を平成28年10月19日以降において、実施した事業主であること。
 - ①旧定年年齢を上回る65歳以上への定年引上げ
旧定年年齢とは、新たな制度を実施する前日までに就業規則等で定められていた定年年齢等のうち、最も高い年齢をいいます。
 - ②定年の定めの廃止
 - ③旧定年年齢および継続雇用年齢を上回る66歳以上の継続雇用制度の導入
新たな制度を実施する前日までに就業規則等で定められていた定年年齢等または希望者全員を対象とした継続雇用年齢のうち、最も高い年齢をいいます。
- (5) 上記(4)に定める制度を規定した際に、経費を要した事業主であること。
ここでいう経費とは、就業規則等の作成、相談費用を外部の専門家等に支払ったものをさします。
- (6) 上記(4)に定める制度を規定した就業規則等を整備している事業主であること。
- (7) 上記(4)に定める制度の実施日から起算して1年前の日から支給申請日の前日までの間に、高齢者雇用安定法第8条または第9条第1項の規定に違反していないこと。具体的には、①60歳以上の定年年齢を規定していること、②第9条1項については、定年規定の廃止もしくは65歳以上の定年年齢の規程または継続雇用制度の規程、を指します。
- (8) 支給申請日の前日において、当該事業主に1年以上継続して雇用されている者であって60歳以上の雇用保険被保険者が1人以上いること。
具体的には、短期雇用特例被保険者及び日雇い特例被保険者を除く、期間の定めのない労働契約を定年到達前に締結している者、または定年後に継続雇用制度により引き続き雇用されている者が対象となります。

2. 支給額

実施した制度に応じて、次に定める額を支給します。

- | | |
|----------------------------|---------|
| ①65歳への定年の引上げ | = 100万円 |
| ②66歳以上への定年引上げまたは定年の定めの廃止 | = 120万円 |
| ③希望者全員を66〜69歳まで継続雇用する制度の導入 | = 60万円 |
| ④希望者全員を70歳以上まで継続雇用する制度の導入 | = 80万円 |

定年引上げと継続雇用制度の導入を合わせて実施した場合は、定年引上げを実施した際の額となります。

3. 次のいずれかに該当する事業主に助成金は支給されません。

- (1) 不正受給をしてから3年以内に申請した事業主、または申請日後支給決定日までの間に不正受給をした事業主
- (2) 支給申請した年度の前年度より前の何れかの年度の労働保険料を納入していない事業主
- (3) 支給申請書の前日から過去1年間に労働関係法令の違反を行った事業主
- (4) 性風俗関連営業、接待を行う飲食等営業、またはこれらの営業の一部を受託する営業を行う事業主
- (5) 暴力団とかかわりのある事業主
- (6) 支給申請日または支給決定日の時点で倒産している事業主
- (7) 不正受給を理由に支給決定を取り消された場合に、機構が事業主名等を公表することについて同意していない事業主

4. 他の助成金との併給調整

- (1) 過去に高齢者雇用安定助成金のうち、定年引上げ等の措置に関してすでに支給を受けていた場合には、この助成金は支給されません。
- (2) この助成金の支給を受けることのできる事業主が、同一の理由により他の国または地方公共団体等の補助金等の支給を受けた場合には、この助成金は支給されません。

5. 申請の手続き

助成金の支給を請けようとする事業主は、支給申請書に必要書類を添えて、制度の実施日翌日から起算して2カ月以内に、独立行政法人高齢・障害者求職者雇用支援機構の都道府県の支部に提出してください。東京および大阪については、高齢・障害者窓口サービス課に提出してください。

〔手順〕

- (1) 事前相談：現状の就業規則を機構に持参し、内容が法令に違反していないか否かの確認をします。
- (2) 支給申請書の受理点検：助成金支給要件に合致した、雇用推進規程となっているか否かの確認をします。
- (3) 支給申請書の提出：機構窓口で受理した申請書を機構本部に申請。
- (4) 支給決定：支給決定がなされた場合、指定口座に助成金が振り込まれます。



写真は第2回大会の参加者

溶接甲子園を目指して！
第3回東京都高校生溶接コンクール
東京都溶接協会

東京都溶接協会（横田文雄会長）は、東京都高校生溶接コンクールを十二月十七日（土）に開催する。

現在、都内の工業高校四校から二十名の選手がエントリーしている。さらに都立多摩職業能力開発センターもオープン参加ながら十名の選手が参加の予定。

この大会は来年四月二十二日に神奈川県・藤沢市で開催する関東甲信越高校生溶接コンクールへの代表選手を選出する大会であり、成績上位二名の選手を東京都代表して派遣する。

※ 上段は学科 下段は実技					講習予定表					公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会 URL: http://www.bcsa.or.jp				
講習名	事務所	11月	12月	1月	講習名	事務所	11月	12月	1月					
玉掛け技能講習	東京	15 16 19	14 15 24	17 18 28	フォークリフト運転技能講習	東京	2 5 12 13	6 10 11 18	12 13 14 21 22					
	千葉	8 9 13		11 12 15		千葉		1 2 4 10 11						
	埼玉	8 9 13	7 8 11	11 12 15		埼玉	24 26 12/3 12/4		24 25 28 2/4 2/5					
	神奈川		1 2 4	18 19 22		神奈川		8 11 17 18						
	茨城		8 9 11			茨城	4 6 13 20							
	栃木	8 9 10	6 7 8	23 24 25		栃木	2 15 3 5 6 16 17 18	9 10 11 17	17 18 19 20 21 22 28					
	甲信	10 11 13	8 9 11			甲信								
小型移動式クレーン運転技能講習	東京				床上操作式クレーン運転技能講習	東京	21 22 26							
	千葉		14 15 18			千葉	24 25 27							
	埼玉					埼玉		14 15 17	18 19 21					
	神奈川	24 25 27				神奈川								
	茨城	18 19 20				茨城			12 13 15					
	栃木	17 18 20		19 20 22		栃木		13 14 15						
	甲信		1 2 3			甲信	24 25 26							

★他の講習も実施しています。詳細については、各事務所にお問合わせください。

ボイラ・クレーン安全協会	〒136-0071	江東区亀戸6-41-20 機伍健保会館2階	TEL 03-3684-5551 FAX 03-3685-2189	神奈川事務所	〒231-0007	横浜市中区弁天通4-59 横浜弁天通第一生命ビル3階	TEL 045-662-2860 FAX 045-662-8768
東京事務所	〒136-0071	江東区亀戸1-28-6 タニビル5階	TEL 03-3685-5222 FAX 03-3685-5746	茨城事務所	〒300-0875	土浦市中荒川沖町2-6 ツインビル3階	TEL 029-843-0740 FAX 029-841-1968
千葉事務所	〒260-0028	千葉市中央区新町18-10 千葉第一生命ビル2階	TEL 043-247-5532 FAX 043-247-5576	栃木事務所	〒322-0016	鹿沼市流通センター46番地	TEL 0289-72-1717 FAX 0289-76-6090
埼玉事務所	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2 JA共済埼玉ビル6階	TEL 048-643-1543 FAX 048-643-1524	甲信事務所	〒400-0212	山梨県南アルプス市 下今諏訪610番9	TEL 055-287-9511 FAX 055-287-9512

一、日時・会場
学科Ⅱ十一月二十九日(火)午前九時五十分～午後〇時
実技Ⅱ十一月二十九日(火)午後一時～午後五時

二、受講料(税込)

炭酸ガス半自動溶接	一般	一八、五〇〇円
被覆アーク溶接	一般	一六、五〇〇円
	会員	一五、五〇〇円

学科のみの受講も可(三、六〇〇円税込)

JIS溶接評価試験 受験準備講習会

予告(平成二十九年)

- 〇二月四日(土) 東京都溶接協会
- 〇二月五日(日) 東京都溶接協会
- 〇二月十八日(土) 城東職業能力開発センター
- 〇二月二十六日(日) 多摩職業能力開発センター

日時・会場

- 〇十二月三日(土) 東京都溶接協会
- 〇十二月四日(日) 東京都溶接協会
- 〇一月七日(土) 東京都溶接協会
- 〇一月八日(日) 東京都溶接協会

JIS溶接評価試験



〈申込先〉
一般社団法人
東京都溶接協会
東京都江東区大島3-1-11
産学協同センター内
TEL 03-3685-5448
FAX 03-3682-4902

十一月(霜月)
しもつき

1日▽教育文化週間
灯台記念日
2日▽唐津くんち
3日▽文化の日
明治神宮例祭
4日▽消費者センター開設記念日
7日▽立冬
8日▽ボイラーデー
ふいご祭
京都伏見稲荷火焚祭
世界都市計画の日
9日▽秋の火災予防運動(15日)
119番の日
11日▽一の西
世界平和記念日
15日▽七五三
本州・四国・九州一般
鳥獣狩猟解禁
17日▽将棋の日
市川中山法華経寺御会式
JIMTOF 2016
第28回日本国際工作機械見本市
(22日東京ビッグサイト)
18日▽第18回産業とめきフェア
in EDOGAWA
(19日タワーホール船堀)
21日▽京都東本願寺報恩講(28日)
22日▽豊川稲荷秋季大祭
23日▽勤労感謝の日
二の酉
28日▽税関記念日
親鸞聖人忌

※行事・祭は変更になる場合
があります。事前に関係諸
団体にご確認下さい。